



タンポポ調査の調べ方

【調査に必要なもの】

調査票（観察の記録用紙）、筆記用具、小さいものさし
ティッシュペーパー（花を包む）、セロハンテープ（タネを貼りつける）

1. タンポポの花を見つけよう

タンポポは、田畠や農道、川の土手、集落内などの自然豊かな場所だけでなく、市街地の公園や道路脇にも生えています。身の回りで、普通に見られる植物です。

ただ、花が開いているのは、晴れの日の午前10時～午後4時ごろです。雨の日や夜間は花が閉じるので（日照の影響）、お天気の良い日の日中に、調査に出かけましょう。

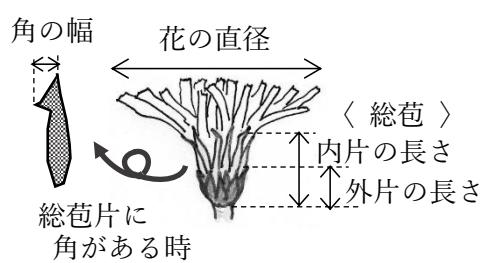
2. 調査地点とその環境を記入しよう 《調査地点ごとに1枚の調査票を使用》

そのタンポポを「誰が」「いつ」「どこで」見つけたのかという情報が、とても大事です。

- ・地点の住所……草津市下物町、高島市安曇川町青柳など。分かれれば、番地も。
- ・地点の目印……デジタル時代になっても、場所の特定に欠かせない情報です。公共施設、大きな店や会社、社寺、バス停、交差点などのランドマークと、そこからのおおよその方角および距離で示して下さい。また、「駐車場」「〇〇公園内」「道路の法面（のりめん）」など、詳細場所が書いてあると助かります。（例：大津幼稚園の東150m歩道の植込み）
- ・緯度経度……パソコンやスマホを使って、国土地理院のホームページやグーグルマップ等のアプリで緯度経度を調べることができます。例えば、スマホで「位置情報をON」に設定してグーグルマップを開くと、現在地が画面中央に青い丸印で示されて出てきます。そこを長押しすると、画面のどこかに、緯度と経度の数値（35.045878, 135.352469など）が10進法表示の“度”で示されているはずです。また、タンポポ調査西日本2020のホームページ <http://gonhana.sakura.ne.jp/tanpopo2020/latlon.php> からも調べられますので、試してみてください。
- ・地点の環境……調査票のA～Iの選択肢から、最も近いものを1つ選んで下さい。大まかには、
A 林・林縁、 B 池の土手、 C 堤防・川原、 D 農地、 E 社寺、 F 都市緑地、
G 路傍・分離帯、 H 駐車場・造成地、 I その他 という区分になっています。

3. 花とタネを観察・記録しよう

開いた花がたくさんある地点では、最初に目についた花、または、その場所で代表的な形の花を1つ採って、観察してください。調査項目に沿って、花の色や大きさ、総苞（そうぼう）の様子（外片の向き、外片・内片の長さ、角（つの）の有無）、タネの色を観ていくと、タンポポの種類がわかる構成になっています。別紙資料の「タンポポの特徴と滋賀県の生育種」を参考にして、種名を予想してみましょう。



なお、外来種（総苞外片がそり返る）のセイヨウタンポポとアカミタンポポについては、花の段階では種（しゅ）を判別できず、綿毛になってようやくタネの色で区別が可能になります。外来種と思われる場合は、花を観察した株にタネがついていて種を区別できれば「セイヨウタンポポ」または「アカミタンポポ」と種名（しゅめい）を書き、綿毛がついていない株の時は「外来種」とだけ書いておいてください。

4. 2種類以上のタンポポが生えているかも… 一疑わしいものは要チェック

同じ場所に2種類以上のタンポポが生えていることがあります。余裕があれば、最初に調べた花の近く（10m四方くらい）にある別の株をざっと見て、違う雰囲気（花のサイズ、総苞外片の向き、内片と外片の比、総苞の角、タネの色など）の花がないか観察してみましょう。

花の色や総苞の感じが違う時は、すぐに気づくと思います。2種類が見られた場合は、調査票の設問5の表で、「サンプルB」の列に記録してください。3種類以上の場合は、新たな調査票を使って「〇〇と同じ場所」と書き、「サンプルA C」「サンプルB D」と直して、記録とサンプル採取をお願いします。また、「明らかに違うとは言いきれないけれど…」と悩む花があれば、念のためにそれも採取して記録してください。

周囲は全て同一の種類と思われる場合でも、別株の花をどれか1つ採って観察・記録してもらえないでしょうか（サンプルも送ってください）。集団の様子がより鮮明になります。

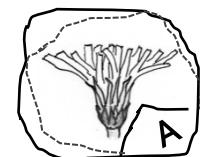
5. サンプル（花とタネ）を送る準備をしよう

◇花——花のサンプルがないものは有効データーにならないので、必ず送ってください。

でも、観察した花とは違う花を送るのはNG！

1. 花粉が落ちないように、花をティッシュペーパーでフワッと包む。 → 2. サンプルのナンバー（A、B…）をティッシュの上にペンで書く。

*葉っぱや根は必要ありません。



◇タネ——花を採取した株にタネ（綿毛）ができるたら5～10個ほど採って、調査票下部の「貼りつけ場所」にセロテープで貼ってください。タネがない時は結構です。



6. 調査票と花を封筒に入れて送ろう

・調査票とティッシュに包んだ花を返信用封筒に入れ、博物館に送ってください。

・1つの返信用封筒に2地点か3地点分を同封する場合は、調査票とサンプルのセットが分かるよう

に番号をつけてください（調査票：No.1、No.2 サンプル：1A、2Bなど）。

《注意》ティッシュに包んだ花をポリ袋やジッパー付きの保存袋に入れる、蒸れてカビたり腐ったりするので、使用しないでください。空気が通る紙製のものなら大丈夫です。

調査期間は2020年3月1日～5月31日です
タンポポの写真もお待ちしています♡